

平成29年度愛媛大学大学院入学式 式辞

松山城、そして道後公園の桜も今や満開、春爛漫のいい季節となりました。

「ご入学おめでとうございます！」愛媛大学を代表し、皆さんの研究科へのご入学を歓迎いたします。また、ご多用の中、本入学式にご臨席を賜りましたご家族の方々、そして関係の皆様方に心よりのお慶びを申し上げます。

今年度、愛媛大学大学院に入学されたのは、「医学系研究科博士課程」、および「理工学研究科・博士後期課程」の大学院博士課程に32名、「法文学研究科」、「教育学研究科」、「医学系研究科」、「農学研究科」の「大学院修士課程」および「理工学研究科博士前期課程」に385名の、合計417名の皆さんです。

この他、香川大学、高知大学と共に構成する「連合農学研究科」におきましては、来る4月10日に19名の入学生をお迎えする予定です。

皆さんの中には44名の社会人学生、16名の海外からの留学生が含まれています。社会人学生の方々におかれましては、仕事の中で疑問に遭遇し、これを解決すべく、研究の道を志されたことでしょうか。その熱意に対し大いなる敬意を表したいと思います。

また、海外からの留学生におかれましては、母国の発展のために新たな知識、技術を習得すべく、大学の扉を叩かれたことでしょうか。言葉の問題、生活習慣の違いなど、学業以外の面においても多くの苦労があることかと思いますが、試練を乗り越えられ、無事目標を達成されることを願っております。

愛媛大学といたしましても、できる限りの支援をさせていただきますので、何か困ったことがあれば、安心してご相談ください。

さて、昨年度から始まった第3期中期目標期間において、愛媛大学は「輝く個性で地域を動かし、世界とつながる大学」を目指すというビジョンを掲げ、「地域を支える人材の育成」、「産業イノベーションの創出」、そして「世界最先端研究の展開」を戦略として定めています。

その中で、われわれは、「先見性や独創性のある研究」を組織的に支援していくことこそが、愛媛大学の社会的使命のひとつであると考えています。特に、本学の大きな強みと言える多くの先端研究センターや地域密着型研究センターを中心として、大学憲章に謳う「地域とともに輝く大学」の達成を目指し、地域社会の構造改革のため、あるいは産業振興のため、優れた若手研究者や高度の知識を習得した専門職業人を数多く輩出していきたいと思っております。

さて、「大学とは何か？」という命題を考える時、「この地上において大学ほど

美しいものはない。それは大学とは、無知を憎む人間が知識を得るために努力し、真実を見た者がそれを他に知らしめようと努力する場所であるからだ」という、イギリスの詩人であり作家の、ジョン・メイスフィールドの言葉がしばしば引用されます。そこには、「自ら自発的に知識を学び、これを深め、集う者にあまねく真理を伝える」という大学人としての理念が明確に表現されているからです。

そのおおもとなるのが「何故だろう？」という素朴な疑問です。ひとつの疑問をきっかけに PDCA サイクルが回り、それがまた新たな疑問を生んで次の PDCA サイクルが回る。そうした連鎖反応の集積が新たな事実の発見へとつながっていくのです。

そもそも、大学院とは教科書には載っていないフレッシュな知見を見出す場所です。そこでは、教科書の中で「ブラックボックス化」している部分、あるいは記載をスルーしている部分を掘り下げて探求することとなります。自ら教科書を書き換えてやろうとするくらいの気概が必要だと言えるでしょう。

かのアインシュタインも、「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。」と、先のジョン・メイスフィールドの言葉を裏打ちするような名言を残しています。重要なのは、常に素朴な疑問と探究心を持ち続けることなのです。

さて、研究者には、「注意深い観察力」と「先入観のない直感力」とが必要とされますが、その大前提として、安定した実験を遂行できる基本スキルの習得は不可欠です。まずは、オーソドックスな実験能力をマスターしましょう。と同時に、思考の幅を広げるために、自分の実験室あるいは研究科のみに籠もらずに、文系・理系を超えた友人作り、大学の垣根を越えた仲間作りに励まれることを強くお勧めします。そうした多様な人間との触れ合いの中で、素晴らしい「閃き」が生まれ、研究に大きな進展がもたらされることがしばしばあるからです。ボーダーレスな形での「知」の交流を是非とも積極的に行いましょう！

最後になりましたが、研究科に入学された皆さんが、この愛媛大学大学院において素晴らしい成果をあげられることを心より期待し、本日の式辞といたします。

平成29年4月6日

愛媛大学長 大橋裕一